



科研製薬株式会社



生化学工業株式会社

2007年8月20日

報道関係各位

科研製薬株式会社
生化学工業株式会社

変形性膝関節症の早期発見・早期治療を広く呼びかける 「変形性膝関節症 疾患啓発キャンペーン」を開始

科研製薬株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：乾 四朗）、生化学工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷 建）は、変形性膝関節症に関する疾患啓発活動の一環として、早期発見・早期治療を呼びかける「変形性膝関節症疾患啓発キャンペーン」を8月20日（月）より開始します。

【背景】

中高年になると膝の痛みに悩む人が増えてきます。原因となる疾患の中で最も多いのが変形性膝関節症で、国内の推定患者数は1,000万人以上とされています。

変形性膝関節症は、加齢や体重の増加などによって膝の関節に負担がかかり、軟骨がすり減る病気で、高齢になるほど患者数が増えていきます。何年もかけて徐々に進行し、悪化すると痛みのために歩くこともままならなくなり、日常生活に支障をきたすこともあります。適切な治療を受ければ、痛みのない日常生活が送れるにもかかわらず、残念ながら、年だからとあきらめて痛みを我慢し、適切な治療を受けていない潜在患者さんが多いのが現状です。

急速に進む高齢化の中で、“健康長寿”を目指すことはすべての領域においていえることですが、歩行の要ともいえる膝が健康であることもまた、自立した生活を送るうえでとても大きな意味を持ってきます。

変形性膝関節症の早期発見・早期治療の重要性を認知していただくための疾患啓発活動の果たす役割は重要であるといえます。

今回、変形性膝関節症に関する疾患啓発キャンペーンを実施することで、より多くの方々がこの疾患について正しく理解し、適切な治療を受ける機会が増えるものと期待しています。

【実施目的】

「変形性膝関節症 疾患啓発キャンペーン」は、変形性膝関節症の正しい知識の普及、早期発見・早期治療の重要性を啓発し、膝に痛みのある患者さんに早期から専門医に受診していただくことを目指しています。

【キャンペーンの概要】

「変形性膝関節症 疾患啓発キャンペーン」は、シニア向けイベントでのセミナーの開催や膝疾患についてのアンケートを主軸に展開し、早期発見のための受診啓発につなげていきます。

- シニア向けイベントでセミナーを開催
2007年9月28日（金）・29日（土）の2日間にわたり、東京新宿で開催されるシニア向けイベント「おとなの文化祭 ゴールデンエイジ・フェスタ 2007」で、膝疾患に関する理解と情報提供のための専門ブースを設置。さらに、千葉大学 守屋秀繁名誉教授を講師にお招きして変形性膝関節症に関するセミナーを開催します。守屋名誉教授は膝関節疾患の専門家であり、横綱審議委員も務めておられます。
- 膝疾患についての実態・意識調査
「おとなの文化祭 ゴールデンエイジ・フェスタ 2007」の参加者を対象に、「膝疾患に関するアンケート調査」を行います。

以上

科研製薬は、生化学工業が製造販売している関節機能改善剤「アルツ®関節注 25mg」「アルツディスポ®関節注 25mg」（一般名：ヒアルロン酸ナトリウム）を発売しています。

ヒアルロン酸は、関節軟骨に多く存在し、軟骨の水分や弾性を保ち、関節の動きを滑らかにするなど、関節における重要な成分です。変形性膝関節症になると、このヒアルロン酸が減少することが分かっており、国内においては約20年前から変形性膝関節症の治療薬として広く使用され、国内外のガイドラインでも評価されています。

本件に関するお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

科研製薬株式会社 総務部 広報グループ (TEL : 03-5977-5002)
生化学工業株式会社 総務部 IR・広報担当 (TEL : 03-5220-8950)